

令和 6 年 宮崎県の交通事故

《交通事故発生マップ》



《宮崎県警察交通部 X》



宮崎県警察本部交通部

用 語 等 の 解 説

1 交通事故統計の対象

道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路上において、車両、路面電車及び列車の交通によって起こされた人の死亡又は負傷を伴う事故とする。

なお、物損事故は交通事故統計の対象外であるが、「宮崎県の交通事故」（本冊子）は、宮崎県内の発生件数（概数）を表記している。

2 「こども」とは

幼児、小学生、中学生の総称をいう。

3 「一般少年」とは

中学校を卒業した15歳以上20歳未満で、高校生以外の者をいう。

4 「若者」とは

中学校を卒業した15歳以上25歳未満の者をいう。

若者は、高校生、一般少年、20歳以上25歳未満の者に分類される。

5 「若者運転者」とは

中学校を卒業した15歳以上25歳未満で、二輪・四輪を運転していた者をいう。

6 「高齢者」とは

65歳以上の者をいう。

7 「昼」とは、「夜」とは

「昼」とは、日の出から日没までをいい、「夜」とは、日没から日の出までをいう。

8 「二輪車」とは

自動二輪車及び一般原動機付自転車という。

目 次

1	令和6年中の交通事故の概要	1
2	過去10年間の交通事故の推移	3
3	交通事故の発生状況	4
4	交通死亡事故の発生状況	13
5	飲酒（酒酔い・酒気帯び）運転の交通事故	18
6	子ども（中学生以下）の交通事故	20
7	若者の交通事故	22
8	高齢者（65歳以上）の交通事故	25
9	歩行者の交通事故	30
10	自転車の交通事故	32
11	二輪車の交通事故	33
12	安全運転管理者事業所の交通事故	34
13	運転免許保有者数・免許証自主返納者数の推移	35
14	令和7年度の主な交通安全活動計画	36
15	宮崎県交通事故相談所の業務案内	37

1 令和6年中の交通事故の概要

(1) 全国

令和6年中の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも前年より減少した。

しかし、死者数2,663人のうち1,513人(56.8%)が高齢者で、高齢者の死者数及び死者に占める高齢者の割合は令和5年よりも増加した。

また、こどもが犠牲となる痛ましい交通事故や、飲酒運転等の悪質・危険な運転による交通事故も後を絶たない状況であり、より一層の交通安全への取組が必要な交通情勢にある。

(2) 宮崎県

ア 概要

令和6年中の交通事故は、発生件数が2,703件、死者数が39人、負傷者数が3,007人と、発生件数及び負傷者数は前年より減少したが、死者数は増加し、第11次宮崎県交通安全計画に掲げた「令和7年度までに年間の24時間死者数を31人以下、交通事故(人身)発生件数を5,200件以下にする」との目標のうち死者数に係る目標を達成することができなかった。

発生件数は年々減少傾向で推移しているが、若者運転者による交通死亡事故の増加が目立った上、死者に占める高齢者の割合が6割を超え、発生件数に占める高齢運転者事故の割合が32.4%と過去最高を更新するなど、第11次宮崎県交通安全計画の最終年である令和7年も、高齢者対策を中心とした更なる取組が求められる。

イ 特徴

- 時間帯別では、16時から18時までの間の発生が最も多く、次いで7時から9時までの間の発生が多かった。
 - ・ 16時から18時までの間 4 6 2 件（前年比 － 8 9 件 全事故の 1 7. 1 %）
 - ・ 7時から9時までの間 4 4 2 件（前年比 － 1 8 2 件 全事故の 1 6. 4 %）

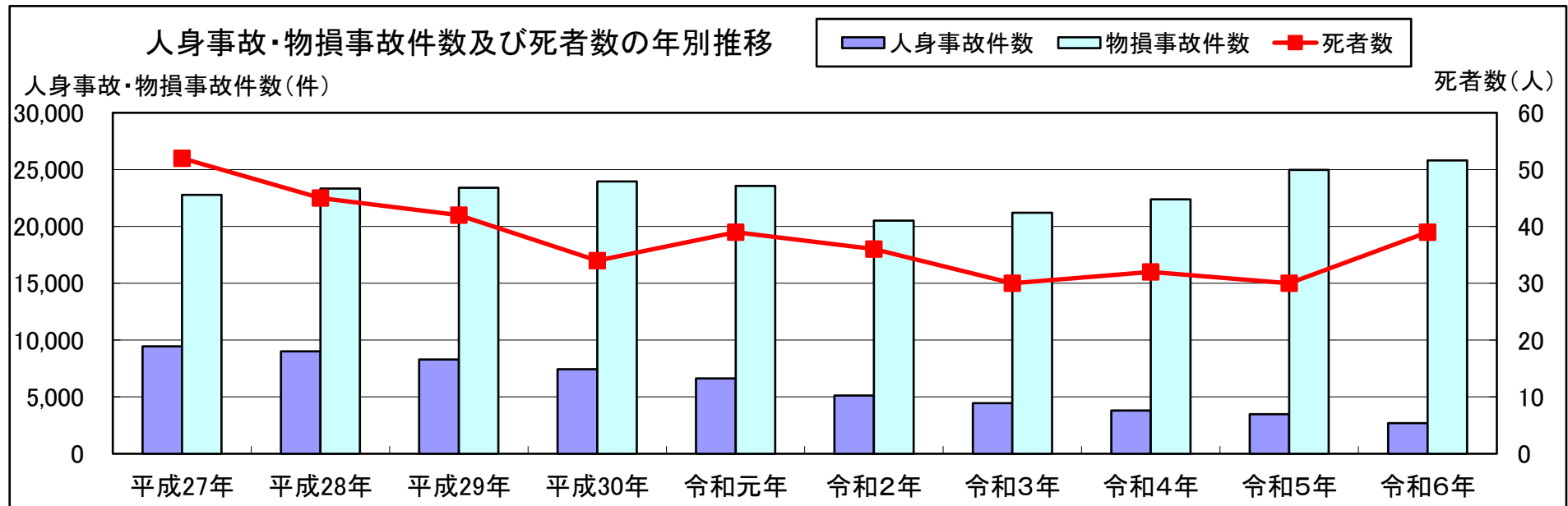
- 道路形状別では、交差点（交差点付近を含む）での発生が最も多く、次いで直線道路での発生が多かった。
 - ・ 交差点（交差点付近を含む） 1, 3 5 7 件（前年比 － 3 2 4 件 全事故の 5 0. 2 %）
 - ・ 直線道路 9 8 8 件（前年比 － 4 3 2 件 全事故の 3 6. 6 %）

- 類型別では、追突事故と出合頭事故が全事故の 6 3. 1 %を占めた。
 - ・ 追突事故 1, 0 7 1 件（前年比 － 3 4 1 件 全事故の 3 9. 6 %）
 - ・ 出合頭事故 6 3 4 件（前年比 － 2 0 7 件 全事故の 2 3. 5 %）

- 第1当事者の年代別では、高齢者（65歳以上）の事故が最も多く、次いで20歳代の事故が多かった。
 - ・ 高齢者 8 7 8 件（前年比 － 2 1 5 件 全事故の 3 2. 5 %）
 - ・ 20歳代 4 5 4 件（前年比 － 1 4 4 件 全事故の 1 6. 8 %）

- 原因別では、前方不注意、動静不注視、安全不確認に起因する事故が、全事故の 6 0. 9 %を占めた。
 - ・ 前方不注意 7 4 9 件（前年比 － 2 7 0 件 全事故の 2 7. 7 %）
 - ・ 動静不注視 3 8 7 件（前年比 － 1 7 6 件 全事故の 1 4. 3 %）
 - ・ 安全不確認 5 1 1 件（前年比 － 3 9 0 件 全事故の 1 8. 9 %）

2 過去10年間の交通事故の推移



年 別		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
人身事故	発 生(件)	9,455	9,015	8,293	7,446	6,621	5,126	4,461	3,798	3,488	2,703
	死 者(人)	52	45	42	34	39	36	30	32	30	39
	負傷者(人)	10,958	10,280	9,251	8,224	7,432	5,741	5,059	4,245	3,908	3,007
物損事故(件)		22,772	23,336	23,399	23,949	23,576	20,511	21,200	22,393	24,976	25,818
総 事 故 件 数		32,227	32,351	31,692	31,395	30,197	25,637	25,661	26,191	28,464	28,521

3 交通事故の発生状況

(1) 前年との比較

区 分		令和6年	令和5年	増減数	増減率(%)
全 国	発 生(件)	290,895	307,930	-17,035	-5.5
	死 者(人)	2,663	2,678	-15	-0.6
	負傷者(人)	344,395	365,595	-21,200	-5.8
宮 崎 県	発 生(件)	2,703	3,488	-785	-22.5
	死 者(人)	39	30	9	30.0
	負傷者(人)	3,007	3,908	-901	-23.1
	物損事故(件)	25,818	24,976	842	3.4

(2) 各署別発生状況

区 分	発 生(件)			死 者(人)			負傷者(人)		
	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
宮 崎 北	672	810	-138	8	2	6	729	891	-162
宮 崎 南	449	675	-226	3	3		490	737	-247
日 南	62	74	-12	1		1	71	82	-11
串 間	17	26	-9				18	33	-15
都 城	513	640	-127	7	5	2	584	720	-136
小 林	133	149	-16	4	1	3	161	190	-29
え び の	33	23	10	3	1	2	33	24	9
高 岡	97	113	-16	1	2	-1	112	131	-19
西 都	55	69	-14	3	2	1	55	77	-22
高 鍋	142	202	-60	2	6	-4	155	224	-69
日 向	172	283	-111	3	6	-3	193	313	-120
延 岡	284	349	-65	1	2	-1	312	393	-81
高 千 穂	44	45	-1	1		1	52	55	-3
高 速 隊	30	30		2		2	42	38	4
合 計	2,703	3,488	-785	39	30	9	3,007	3,908	-901

(3) 月別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
1 月	184	1	207
2 月	259	0	288
3 月	233	3	244
4 月	209	5	238
5 月	241	2	269
6 月	196	3	227
7 月	225	3	246
8 月	221	6	251
9 月	208	3	226
10 月	233	0	261
11 月	214	4	242
12 月	280	9	308
合 計	2,703	39	3,007

(4) 曜日別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
日 曜	249	5	297
月 曜	418	8	470
火 曜	428	7	472
水 曜	409	4	445
木 曜	411	6	461
金 曜	427	4	463
土 曜	361	5	399
合 計	2,703	39	3,007

(5) 天候別発生状況

区 分	晴	曇	雨	霧・雪	合 計
発 生(件)	1,767	513	422	1	2,703
死 者(人)	26	7	6		39
負傷者(人)	1,951	569	486	1	3,007

(6) 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ～ 1	21	1	22
1 ～ 2	14	2	13
2 ～ 3	7	1	6
3 ～ 4	6	0	6
4 ～ 5	8	1	7
5 ～ 6	25	3	25
6 ～ 7	63	0	71
7 ～ 8	208	2	225
8 ～ 9	234	1	260
9 ～ 10	157	1	168
10 ～ 11	183	2	206
11 ～ 12	194	1	222
12 ～ 13	150	2	163
13 ～ 14	138	1	163
14 ～ 15	171	2	188
15 ～ 16	194	6	224
16 ～ 17	209	2	232
17 ～ 18	253	1	285
18 ～ 19	193	2	212
19 ～ 20	120	2	138
20 ～ 21	59	2	58
21 ～ 22	54	2	66
22 ～ 23	26	1	28
23 ～ 24	16	1	19
合 計	2,703	39	3,007

(7) 昼夜別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
昼	2,143	21	2,390
前 年 比	-670	3	-742
構 成 率	79.3%	53.8%	79.5%
夜	560	18	617
前 年 比	-115	6	-159
構 成 率	20.7%	46.2%	20.5%
合 計	2,703	39	3,007
前 年 比	-785	9	-901

(8) 路線別発生状況

区 分		発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
高速道路・自専道		37	2 (2)	50
国 道	10 号	397	5 ()	466
	218 号	37	()	45
	219 号	29	(-1)	32
	220 号	64	()	74
	221 号	59	()	69
	222 号	28	1 ()	31
	268 号	42	2 (2)	50
	269 号	98	3 (1)	111
	そ の 他	32	1 (-3)	39
	小 計	786	12 (-1)	917
県 道		604	6 (-1)	670
市 町 村 道		1,063	17 (8)	1,143
そ の 他		213	2 (1)	227
合 計		2,703	39 (9)	3,007

※ () は前年比

(9) 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
交 差 点	913	6	1,010
交 差 点 付 近	444	7	490
力 ー ブ	104	6	128
直 線	988	16	1,106
橋	31	1	36
ト ン ネ ル	6	1	6
踏 切	1	1	
一般交通の場所	216	1	231
合 計	2,703	39	3,007

(10) 事故類型別発生状況

区 分	人対車両		車 両 相 互					単独	列車	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出合頭	右左折時	その他			
発 生 (件)	144	106	85	1,071	634	231	349	82	1	2,703
死 者 (人)	11	4	4	1	1		1	16	1	39
負 傷 者 (人)	135	102	111	1,214	726	258	392	69		3,007

(11) 原因別発生状況(件)

車 両 側 の 原 因						人 側 の 原 因	
安全不確認	511	最 高 速 度	1	右 折 違 反	4	飛 出 し	
前方不注意	749	徐 行 場 所 反 違	3	左 折 違 反	6	走 行 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	
動 静 不 注 視	387	交 差 点 行 安 全 進 行	267	過 労 等	5	駐 停 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	
一時不停止	151	通 行 区 分	19	ドア開放不適	1	横 断 歩 道 外 横 断	
信 号 無 視	102	予 測 不 適	3	酒 酔 い 運 転	0	酩 酊 ・ 徘 徊	
ハンドル等 操作不適	214	優 先 通 行 等 妨 害	88	追 越 し 違 反	2	信 号 無 視	2
歩行者妨害等	80	横 断 自 転 車 等 妨 害	36	横 断 等 禁 止 違 反	8	幼 児 の ひ と り 歩 き	
車 間 距 離 不 保 持	0	通 行 妨 害	3	そ の 他 の 違 反	26	そ の 他 ・ 調 査 不 能	1
小 計 2,666 件						小 計 3 件	
合 計 2,669 件(不明等の						34 件を除く)	

(12) 第一当事者の年代別発生状況

年 代 別		発 生 (件)
こ ど も		5
若 者	高 校 生	13
	一 般 少 年	109
	20 ～ 24 歳	261
	小 計	383
25 ～ 29 歳		193
30 歳 代		324
40 歳 代		365
50 歳 代		367
60 ～ 64 歳		181
65 歳 以 上		878
不 明		7
合 計		2,703

※ 一般少年とは、中学校を卒業した15歳～20歳未満で、高校生以外の者をいう。

※ 不明とは、ひき逃げ等のため当事者が判明しなかったもの。

(13) 市町村別人口1万人当たり第1当事者数

番号	市町村名	当事者数 (人)	人口 (人)	人口 1万人当たり (人)
1	国 富 町	52	17,533	29.66
2	小 林 市	115	41,006	28.04
3	綾 町	18	6,518	27.62
4	都 城 市	435	159,528	27.27
5	宮 崎 市	1,051	394,053	26.67
6	門 川 町	44	16,516	26.64
7	西 都 市	70	26,980	25.95
8	えびの市	41	15,888	25.81
9	延 岡 市	281	111,150	25.28
10	新 富 町	38	15,848	23.98
11	西米良村	2	884	22.62
12	木 城 町	10	4,515	22.15
13	日之影町	7	3,180	22.01
14	高千穂町	23	10,549	21.80

※ 人口は 令和7年 1月1日現在の推計人口

番号	市町村名	当事者数 (人)	人口 (人)	人口 1万人当たり (人)
15	高 原 町	17	7,883	21.57
16	都 農 町	20	9,444	21.18
17	日 向 市	119	56,703	20.99
18	高 鍋 町	38	18,995	20.01
19	三 股 町	44	25,232	17.44
20	美 郷 町	7	4,186	16.72
21	川 南 町	22	14,280	15.41
22	日 南 市	69	46,942	14.70
23	椎 葉 村	3	2,196	13.66
24	串 間 市	17	15,083	11.27
25	諸 塚 村	1	1,300	7.69
26	五ヶ瀬町	0	3,021	0.00
県 外 等		159		
合 計		2,703	1,029,413	

4 交通事故の発生状況

(1) 発生状況

発生 39件 死者 39人 【前年比 発生 +9件 死者 +9人】

(2) 特徴等

ア 年代別死者数は、高齢者が最も多い。

- ・ 高齢者 24人（全死者数の61.5% 前年比 +6人）
- ・ 50歳代 5人（全死者数の12.8% 前年比 ±0人）

イ 状態別死者数は、歩行者、四輪運転者が多い。

- ・ 歩行者 16人（全死者数の41.0% 前年比 +4人）
- ・ 四輪運転者 15人（全死者数の38.5% 前年比 +3人）

ウ 昼間及び夜間の死亡事故は、昼間及び夜間ともに増加した。

- ・ 昼間 発生21件 死者21人（全死亡事故件数の53.8% 前年比 +3件 +3人）
- ・ 夜間 発生18件 死者18人（全死亡事故件数の46.2% 前年比 +6件 +6人）

エ 道路形状別では、直線道路が最も多い。

- ・ 直線道路 発生16件 死者16人（全死亡事故件数の41.0% 前年比 +5人）

オ 原因別では、前方不注意、動静不注視、安全不確認によるものが多い。

- ・ 発生12件 死者12人（全死亡事故件数の30.8% 前年比 ±0件 ±0人）

(3) 原因別発生状況

原因別		令和6年		令和5年		増減数	
		発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
車 両 側 の 違 反	酒 酔 い 運 転						
	最 高 速 度	1	1			1	1
	過 労 ・ 居 眠 り 運 転						
	信 号 無 視			2	2	-2	-2
	通 行 区 分	5	5	4	4	1	1
	一 時 不 停 止			1	1	-1	-1
	横断歩行者妨害等	4	4	1	1	3	3
	交差点安全進行	1	1			1	1
	前方不注意・動静不注視	10	10	8	8	2	2
	安 全 不 確 認	2	2	4	4	-2	-2
	ハンドル等操作不適	2	2			2	2
	安 全 速 度						
	そ の 他 違 反	1	1	2	2	-1	-1
	調 査 不 能	11	11	8	8	3	3
	調 査 中						
	小 計	37	37	30	30	7	7
人 側 の 違 反		2	2			2	2
合 計		39	39	30	30	9	9

(4) 状態別死者数(人)

区 分		令和6年	令和5年	増減数
四輪	運 転 中	15	12	3
	同 乗 中	2	1	1
自動二輪車		2	3	-1
原付・特小原		1		1
歩 行 者		16	12	4
自 転 車 等		3	2	1
合 計		39	30	9

(5) 年代別死者数(人)

区 分		令和6年	令和5年	増減数
幼 児		1	1	
小 学 生				
中 学 生				
若 者	高 校 生			
	一 般 少 年			
	20 ～ 24 歳	3	2	1
	小 計	3	2	1
25 ～ 29 歳		1		1
30 歳 代		3	2	1
40 歳 代			2	-2
50 歳 代		5	5	
60 ～ 64 歳		2		2
65 歳 以 上		24	18	6
不 明				
合 計		39	30	9

※高齢死者の内75歳以上 14人 58.3%

(6) 路線別発生状況

区 分		令和6年		令和5年		増減数	
		発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
高速道路・自専道		2	2			2	2
国 道	10 号	5	5	5	5		
	218 号						
	219 号			1	1	-1	-1
	220 号						
	221 号						
	222 号	1	1	1	1		
	223 号						
	268 号	2	2			2	2
	269 号	3	3	2	2	1	1
	そ の 他	1	1	4	4	-3	-3
	小 計	12	12	13	13	-1	-1
県 道		6	6	7	7	-1	-1
市 町 村 道		17	17	9	9	8	8
そ の 他		2	2	1	1	1	1
合 計		39	39	30	30	9	9

(7) 道路形状別発生状況

区 分	令和6年		令和5年		増減数	
	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)	発生(件)	死者(人)
交 差 点	6	6	7	7	-1	-1
交差点付近	7	7			7	7
カ ー ブ	6	6	8	8	-2	-2
直 線	16	16	11	11	5	5
踏 切	1	1	1	1		
その他	3	3	3	3		
合 計	39	39	30	30	9	9

5 飲酒(酒酔い・酒気帯び)運転の交通事故

(1) 発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
令和6年	36	5	39
令和5年	28		33
増 減 数	8	5	6
増減率(%)	28.6	#DIV/0!	18.2

(2) 各署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	12	2	12
宮 崎 南	3		3
日 南			
串 間			
都 城	7	1	9
小 林	1		1
え び の	3	2	1
高 岡	1		1
西 都			
高 鍋	2		3
日 向	2		2
延 岡	5		7
高 千 穂			
高 速 隊			
合 計	36	5	39

(3) 時間別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ～ 2	2		2
2 ～ 4			
4 ～ 6	2		2
6 ～ 8	6	1	6
8 ～10	3		5
10～12	1		1
12～14	1		1
14～16	3	1	2
16～18	4		6
18～20	2		3
20～22	7	1	8
22～24	5	2	3
合 計	36	5	39

(4) 車種別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
乗 用 車	28	3	31
貨 物 車	4		6
特 殊 車			
二 輪 車	2		2
軽 車 両	2	2	
合 計	36	5	39

6 こども(中学生以下)の交通事故

(1) 発生状況

区 分	幼 児			小 学 生			中 学 生			合 計		
	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
令和6年	7	1	14	37		50	40		44	84	1	108
令和5年	6	1	20	54		70	50		61	110	1	151
増 減 数	1		-6	-17		-20	-10		-17	-26		-43

※ 幼児、小学生、中学生の交通事故件数は、幼児、小学生、中学生が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 状態別死傷者数(人)

区 分	歩 行 中	自転車乗用中	自転車同乗中	車同乗中	そ の 他	合 計
幼 児	8			7 (1)		15 (1)
小 学 生	19	19		12		50
中 学 生	6	31		7		44
合 計	33	50		26 (1)		109 (1)

※ () は死者数で内数

(3) 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ～ 2			
2 ～ 4			
4 ～ 6			
6 ～ 8	9		12
8 ～ 10	6		7
10 ～ 12	2		7
12 ～ 14	6		7
14 ～ 16	23	1	29
16 ～ 18	26		32
18 ～ 20	9		11
20 ～ 22	3		3
22 ～ 24			
合 計	84	1	108

(4) 原因別発生状況

区 分		発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
二・四輪車	一 時 不 停 止			
	ハンドル等操作不適			
	そ の 他 の 違 反			
自 転 車	安 全 不 確 認	12		12
	動 静 不 注 視	9		8
	一 時 不 停 止	3		2
	交 差 点 安 全 進 行	17		17
	前 方 不 注 意	3		2
	徐 行 場 所 違 反			
	通 行 区 分	1		1
	ハンドル等操作不適	2		1
	そ の 他 の 違 反	2		2
歩 行 者	飛 出 し	6		7
	幼児のひとり歩き	1		1
	走行・駐停車車両の 直 前 ・ 直 後 横 断	2		2
	横 断 不 適			
	信 号 無 視			
	そ の 他 の 違 反			
違 反 な し		26	1	53
合 計		84	1	108

7 若者の交通事故

(1) 若者運転者の交通事故

ア 発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
令和6年	375	9	454
令和5年	504	3	591
増 減 数	-129	6	-137
増減率(%)	-25.6	200.0	-23.2

※ 若者運転者は、中学校を卒業した15歳以上
25歳未満で、二輪・四輪の運転していた者を
いう。

※ 第1当事者が若者運転者の交通事故を集計
した。

イ 各署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
宮崎北	111	1	126
宮崎南	65	1	77
日 南	6	1	7
串 間	2		2
都 城	72	1	95
小 林	8		13
えびの	2	1	2
高 岡	15	1	17
西 都	7		7
高 鍋	20	2	23
日 向	16		22
延 岡	38		45
高千穂	6	1	8
高速隊	7		10
合 計	375	9	454

ウ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ～ 2	10	1	11
2 ～ 4	4		4
4 ～ 6	3	2	1
6 ～ 8	41	1	49
8 ～10	60	2	67
10～12	30		35
12～14	30		45
14～16	41	1	52
16～18	52		70
18～20	67		77
20～22	22	2	25
22～24	15		18
合 計	375	9	454

エ 原因(違反)別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
前 方 不 注 意	143	4	180
動 静 不 注 視	62	1	68
安 全 不 確 認	48		50
ハンドル等操作不適	29		31
一 時 不 停 止	16		25
信 号 無 視	18		28
交 差 点 安 全 進 行	29		35
安 全 速 度			
通 行 区 分	3	1	3
歩 行 者 妨 害 等	3	1	3
優 先 通 行 妨 害 等	10		11
左 折 違 反	1		2
右 折 違 反			
横断自転車妨害等	3		3
過 労 ・ 居 眠 り	3		5
そ の 他 の 違 反	3		6
調 査 不 能	4	2	4
合 計	375	9	454

(2) 若者死者の各署別・状態別発生状況(人)

区 分	四 輪 運 転	四 輪 同 乗	二 輪 運 転	二 輪 同 乗	自 転 車 乗 用	歩 行 中	合 計
宮崎北						1	1
宮崎南				(1)			(1)
日 南							
串 間							
都 城							
小 林							
えびの							
高 岡	1 (1)						1 (1)
西 都							
高 鍋							
日 向							
延 岡							
高千穂	1						1
高速隊							
合 計	2 (1)			(1)		1	3 (2)

※ 若者の死者数である。

※ () は前年の死者数

8 高齢者(65歳以上)の交通事故

(1) 過去5年間の交通事故等の推移

区 分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
高 齢 者 人 口 (人)		345,558	351,486	351,843	351,082	350,757
高齢免許保有者数(人)		222,833	227,190	230,259	234,700	237,426
高齢者の事故	発 生 (件)	2,403	2,171	1,871	1,757	1,390
	死 者 (人)	30	18	18	18	24
	負傷者(人)	1,193	1,041	873	780	608
高齢運転者の事故	発 生 (件)	1,438	1,316	1,124	1,089	875
	死 者 (人)	17	7	11	14	12
	負傷者(人)	1,599	1,493	1,245	1,207	966

※ 高齢者の事故の集計方法

発生(件)：高齢者(65歳以上)による第1当事故及び第2当事故の合計件数

死者・負傷者(人)：高齢者(65歳以上)の死者数及び負傷者数

※ 高齢運転者の事故の集計方法

発生(件)：高齢運転者(65歳以上、二輪・四輪)による第1当事故

死者・負傷者(人)：高齢運転者(65歳以上、二輪・四輪)による第1当事故の死者数及び負傷者数

※ 高齢者人口は、各年10月1日現在の県統計

(2) 高齢者の交通事故

ア 署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	295	5	135
宮 崎 南	198	2	90
日 南	38	1	17
串 間	10		4
都 城	269	6	110
小 林	91	4	45
え び の	30		13
高 岡	45		29
西 都	34	2	14
高 鍋	76	1	33
日 向	109	2	38
延 岡	163	1	60
高 千 穂	24		13
高 速 隊	8		7
合 計	1,390	24	608

イ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ～ 2	11	1	4
2 ～ 4	3		2
4 ～ 6	20	1	7
6 ～ 8	101	2	45
8 ～ 10	202		92
10～12	304	3	149
12～14	173	1	73
14～16	225	6	86
16～18	202	3	79
18～20	102	4	46
20～22	41	3	20
22～24	6		5
合 計	1,390	24	608

ウ 死傷者の状態別発生状況(人)

区 分	四輪運転	二輪運転・同乗	自転車運転・同乗	四輪同乗	歩行中	その他	合 計
死 者(人)	9	3	1		11		24
負傷者(人)	352	44	45	69	98		608

エ 自宅から事故現場までの距離(歩行者・自転車利用者)

区 分	50m以下	100m以下	500m以下	1km以下	2km以下	2kmを超過	不 明	合 計
死 者(人)	3	1	5	1		2		12
負傷者(人)	10	11	41	17	22	41		142

オ 安全教育受講状況

区 分	受講後1年以内	受講後1年以上	受講なし(不明)	合 計
死 者(人)		1	10	11
負傷者(人)	4	2	72	78

※ 運転免許を保有していない歩行者・自転車利用者について集計

カ 75歳以上の高齢者事故発生状況

区 分	75歳以上の高齢者の事故			75歳以上の高齢運転者の事故			75歳以上の歩行者の事故		
	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)	発生(件)	死者(人)	負傷者(人)
令和6年	675	14	272	449	6	500	65	8	57
令和5年	747	14	332	477	10	520	75	5	72
増 減 数	-72		-60	-28	-4	-20	-10	3	-15

※ 75歳以上の高齢者の事故の集計方法

発生(件)：高齢者(75歳以上)による第1当事故及び第2当事故の合計件数

死者・負傷者(人)：高齢者(75歳以上)の死者数及び負傷者数

※ 75歳以上の高齢運転者の事故の集計方法

発生(件)：高齢運転者(75歳以上、二輪・四輪)による第1当事故

死者・負傷者(人)：高齢運転者(75歳以上、二輪・四輪)による第1当事故の死者数及び負傷者数

※ 75歳以上の歩行者の事故の発生件数 75歳以上の歩行者による第1当事故及び第2当事故の合計件数

(3) 高齢運転者の交通事故

ア 署別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
宮 崎 北	171	3	184
宮 崎 南	118	1	126
日 南	26		28
串 間	8		9
都 城	178	2	203
小 林	55	2	62
え び の	17		19
高 岡	25		30
西 都	22	2	21
高 鍋	42		47
日 向	77	1	84
延 岡	114	1	127
高 千 穂	16		17
高 速 隊	6		9
合 計	875	12	966

イ 時間帯別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
0 ～ 2	6	1	5
2 ～ 4	2		2
4 ～ 6	14		15
6 ～ 8	55		61
8 ～ 10	126		140
10 ～ 12	181	3	209
12 ～ 14	112		121
14 ～ 16	158	5	169
16 ～ 18	131		148
18 ～ 20	63	2	69
20 ～ 22	24	1	24
22 ～ 24	3		3
合 計	875	12	966

ウ 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
交 差 点	318	2	349
交差点付近	117	1	128
トンネル	3		4
橋	6		6
カーブ	37	3	41
直 線	292	6	325
踏 切			
一般交通の場所	102		113
合 計	875	12	966

※交差点及び交差点付近での発生 49.7%

エ 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
安 全 不 確 認	208		229
前 方 不 注 意	193		227
動 静 不 注 視	77		85
ハンドル等操作不適	89	2	96
交差点安全進行	86	1	91
一 時 不 停 止	57		63
信 号 無 視	45		53
歩 行 者 妨 害 等	36	1	36
優先通行妨害等	34		39
横断自転車妨害等	14		15
そ の 他 の 違 反	26	2	28
調 査 不 能	10	6	4
合 計	875	12	966

※脇見等（前方不注意、動静不注視、安全不確認）による事故 54.6%

9 歩行者の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和6年	令和5年	増減数
発 生（件）	251	278	-27
死 者（人）	16	12	4
負 傷 者（人）	241	273	-32

※ 歩行者の交通事故件数は、歩行者が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 原因別発生状況

区 分	発 生 （件）	死 者 （人）	負傷者 （人）
信 号 無 視	6	1	5
左 側 通 行	1		1
車 道 通 行	1		1
横断歩道外横断	14	1	13
斜 め 横 断	5		5
駐 停 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	1		1
走 行 車 車 両 の 直 前 ・ 直 後 横 断	6		6
横断禁止場所横断	3	2	1
幼児のひとり歩き	1		1
酩 酊 ・ 徘 徊	8	2	6
路 上 遊 戯			
路 上 作 業	1		1
飛 出 し	8		9
その他の違反	5	1	4
調 査 不 能	5	2	3
違 反 な し	186	7	184
合 計	251	16	241

(3) 横断開始場所の状況(1・2当のみ)

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
路 地 か ら	15		15
車 の 陰 か ら	9		9
建 物 か ら	4		4
物 陰 か ら	2	2	
その他路側か ら・該当なし	221	13	208
合 計	251	15	236

(4) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者 (人)
幼児	7		7
小学生	18		19
中学生	5		5
高校生	4		4
高齢者	107	11	97
その他	110	5	109
合 計	251	16	241

《その他の死者》

20歳未満 0 人
20歳代 2 人
30歳代 2 人
40歳代 0 人
50歳代 0 人
60－64歳 1 人

10 自転車の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和6年	令和5年	増減数
発 生 (件)	276	418	-142
死 者 (人)	3	2	1
負 傷 者 (人)	265	407	-142

※ 自転車の交通事故件数は、自転車が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
幼 児			
小 学 生	19		19
中 学 生	35		31
高 校 生	80		80
高 齢 者	46	1	45
そ の 他	96	2	90
合 計	276	3	265

(3) 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
動 静 不 注 視	41		40
安 全 不 確 認	46		45
交 差 点 安 全 進 行	79		78
一 時 不 停 止	11		9
前 方 不 注 意	6		4
通 行 区 分	5		5
ハンドル等操作不適	2		1
信 号 無 視	3		3
徐 行 場 所 違 反			
予 測 不 適	2		2
優先通行妨害等	1		1
そ の 他 の 違 反	7		6
調 査 不 能	9	3	6
違 反 な し	64		65
合 計	276	3	265

11 二輪車の交通事故

(1) 発生状況

区 分	令和6年	令和5年	増減数
発 生 (件)	196	257	-61
死 者 (人)	3	3	
負傷者(人)	176	225	-49

※ 二輪車の交通事故件数は、二輪車が第1当事者及び第2当事者となった交通事故件数をいう。

(2) 年代別発生状況

区 分	発 生 (件)	死者(人)	負傷者(人)
若 中 学 生 高 校 生 一 般 少 年 者 20～24歳 高 齢 者 そ の 他 合 計			
	6		6
	18		17
	19		17
	49	3	44
そ の 他	104		92
合 計	196	3	176

(3) 道路形状別発生状況

区 分	発 生 (件)	死者(人)	負傷者(人)
交 差 点	101		102
交差点付近	21		18
直 線	60	1	44
力 ー ブ	10	2	9
一般交通の場所	2		1
そ の 他	2		2
合 計	196	3	176

(4) 原因別発生状況

区 分	発 生 (件)	死 者 (人)	負傷者(人)
動 静 不 注 視	30		25
安 全 不 確 認	15		13
交 差 点 安 全 進 行	63		63
前 方 不 注 意	18		10
ハンドル等操作不適	15	1	12
一 時 不 停 止	2		2
通 行 区 分	1		
右 折 違 反			
安 全 速 度	1		1
信 号 無 視	6		4
優 先 通 行 妨 害	2		2
徐 行 場 所 違 反			
予 測 不 適	1		
最 高 速 度	1		1
追 越 し 違 反	2		2
そ の 他 の 違 反	3		2
調 査 不 能	6	2	4
違 反 な し	30		31
対 象 外 当 事 者			4
合 計	196	3	176

12 安全運転管理者事業所の交通事故(業務中及び出・退社中の第1当事者)

(1) 発生状況

区 分	令和6年	令和5年	増減数
発 生(件)	232	291	-59
死 者(人)	3	1	2
負傷者(人)	252	315	-63

(2) 運転経過年数別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
1年未満	8		9
3年未満	15		19
5年未満	21		24
10年未満	30		34
10年以上	158	3	166
無 免 許			
合 計	232	3	252

(3) 通行目的別発生状況

区 分	業務中	出勤中	退社中	合 計
発 生 (件)	113	71	48	232
死 者 (人)		2	1	3
負 傷 者 (人)	127	73	52	252

(4) 原因別発生状況

区 分	発 生(件)	死 者(人)	負傷者(人)
前 方 不 注 意	74	1	80
動 静 不 注 視	39	1	44
安 全 不 確 認	24		24
ハンドル等操作不適	23		27
交 差 点 安 全 進 行	20		21
一 時 不 停 止	13		15
信 号 無 視	5		5
歩 行 者 妨 害 等	9	1	8
安 全 速 度			
徐 行 場 所 違 反	1		1
通 行 区 分	2		3
右 折 違 反			
左 折 違 反			
優 先 通 行 妨 害 等	11		13
横断自転車妨害等	4		4
そ の 他 の 違 反	6		6
調 査 不 能	1		1
合 計	232	3	252

13 運転免許保有者数・免許証自主返納者数の推移

(1) 運転免許保有者数の推移(人)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	前年比
全 保 有 者 数	744,885	741,485	738,104	735,423	731,437	-3,986
若 者 保 有 者 数	46,648	46,179	45,755	45,116	44,316	-800
高 齢 保 有 者 数	222,833	227,190	230,259	234,700	237,426	2,726

※ 令和2年からの増減率

- ・ 全保有者数 - 1.8 %
- ・ 若者保有者数 - 5. %
- ・ 高齢保有者数 + 6.5 %

(2) 免許証自主返納者数(申請による取消し)の推移(人)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	前年比
全年齢返納者数	4,505	4,366	4,080	3,881	4,261	380
高齢者返納者数	4,389	4,287	4,002	3,812	4,167	355

※ 令和2年からの増減率

- ・ 全年齢返納者数 - 5.4 %
- ・ 高齢者返納者数 - 5.1 %

14 令和7年度の主な交通安全活動計画

月別	行 事 名
4月	・ 春の全国交通安全運動（6～15日）
5月	・ 自転車マナーアップ強化月間
6月	
7月	・ 飲酒運転根絶強化月間
8月	
9月	・ 秋の全国交通安全運動（21～30日）
10月	
11月	・ 夕暮れ時の早めの点灯・ピカピカ運動（11/1～1/31）
12月	・ 冬の交通安全県民総ぐるみ運動（1～10日）
1月	
2月	
3月	
※ 日を定めて行う運動 ・ 毎月10日 県民交通安全の日 ・ 4月10日及び国指定日 交通事故死ゼロを目指す日	

15 宮崎県交通事故相談所の業務案内

1 宮崎県交通事故相談所

(1) 場 所

宮崎市橘通東二丁目 10 番 1 号
県庁 1 号館 4 階

(2) 相談日時

月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：00～12：00
13：00～15：30
（受付は15：00まで）

※ 面談による相談を希望される方は、事前に電話でお申し込みください。

(3) 電話相談

相談員による電話相談を受け付けています。
宮崎県交通事故相談所
電話 0985-26-7039
（受付時間は、上記相談日時に同じです。）

2 市町村等が設置している交通事故相談

※ 令和7年 2月現在

○ 宮崎市交通事故相談

宮崎市役所本庁舎 4 階 地域安全課交通事故相談室
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：15～12：00
13：00～16：00
（受付は15：00まで・要予約）
電話 0985-44-2802

○ 都城市交通事故相談

都城市役所本庁舎 2 階
月・火・木・金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：00～16：00
電話 0986-23-0944

○ 西都市交通事故相談

西都地区交通安全協会
月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
09：00～16：00
電話 0983-43-0294

令和7年度 宮崎県交通安全スローガン

- ◆高齢者交通事故防止を呼びかけるもの

「年の功 経験活かし 事故防止」

- ◆脇見・ぼんやり運転等追放を呼びかけるもの

「一瞬の わき見ぼんやり 事故一生」

- ◆飲酒運転根絶を呼びかけるもの

「飲酒運転 するもさせるも 皆同罪」

- ◆自転車の安全利用を呼びかけるもの

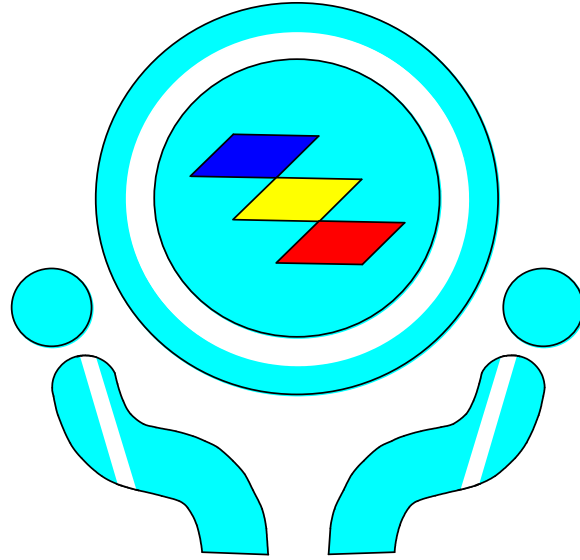
「自転車も 歩行者守って やさしい運転」

- ◆横断歩道における歩行者優先を呼びかけるもの

「横断歩道 歩行者いたら 赤信号」

- ◆夕暮れ時や夜間における反射材の着用を呼びかけるもの

「反射材 あなたの命を 守る盾」



宮 崎 県 交 通 安 全
シ ン ボ ル マ ー ク